

別海町立上風連中学校 学校だより 第7号



# 上風連中

平成28年9月29日 校長 伊藤秀則

思考～よく考え、行動する生徒  
健康～強い身体と意志をもつ生徒  
友愛～助け合い、みがきあう生徒  
勤労～進んで働く生徒  
礼儀～礼儀正しい生徒

## 夢や希望の実現に向けて努力しよう！

校長 伊藤秀則

2学期が始まって一月あまりがたちました。中学2・3年生は3日間の職場体験学習、中学1年生は職場インタビューや地域体験学習を実施するなど、普段、学校の中だけでは学習することができないことを体験することで、職業に対する理解を深めたり、働くことの意義について自分なりに考えたりする機会となりました。職場体験学習は、自分の目で見、耳で聞き、心で感じ、さらに体を動かしてやってみることで、自分が思っていた職業観を変換したり再認識したりすることにもつながります。

先日、「職場体験報告会」が行われました。自分たちが興味・関心を持っている職業を体験することができたということで、どの生徒も積極的に体験に参加し、自分が知りたいと思ったことや疑問に思っていたことなどを知ることができて、充実した3日間であったことが伝わってきました。

今後は体験したことをもとに、自分が目指す職業に就くために、これからの学習面や生活面、さらには体力・健康の向上のために何が大切なのかを考え、自ら行動してほしいと思います。

さて、8月・9月と、ブラジルのリオデジャネイロで南米では初めてとなる「オリンピック」、「パラリンピック」が開催されました。日本からも多くの選手が出場し、どちらもたくさんのメダルを獲得しました。オリンピックという4年に一度の夢の舞台への出場に向けて、日々努力を続けた結果ということが出来ます。

オリンピックへの出場を果たした選手の中には、挫折や怪我や病気を克服したり、海外留学して自らをより厳しい環境に置いて努力を重ねたりしたことで、メダルを獲得した選手もいます。夢や希望をもって挑戦を続け、チームメイトや家族、多くの関係者などと協力し、自分自身を進化させることができたことが、オリンピックへの出場やメダルの獲得という結果に結びつき、たくさんの人たちに感動や勇気を与えてくれました。

4年後には、東京でオリンピックが行われます。種目によっては、今の中学生の皆さんと同年代の選手がたくさん出場することになるでしょう。競技への出場以外にも、聖火ランナー、開会式や閉会式のスタッフになったりアトラクションに参加したりすること、世界中から日本にやってくる選手や関係者を直接的だったり間接的に「お・も・て・な・し」することなど、さまざまなことが考えられます。

大切なことは自分の夢をしっかりとって、その実現に向けて努力を続けることです。これはスポーツの世界のことだけではなく、学習面や文化的な活動についても言えることです。特に3年生は、自分自身の進路の目標に向かって、一日一日を大切に、夢や希望の実現に近づけてほしいと思います。

皆さんの身近な先輩の中にも自分の夢の実現に向けて確実に歩を進めている方がたくさんいます。スポーツで全国一位になったり、日本を飛び出し、スイスで世界に向けて演説をしてきたりなど、毎日の努力の賜物です。

## 中学校統合50周年記念事業へのご協力、ありがとうございます！

10月22日(土)の記念式典及び文化祭の開催までいよいよ一月を切りました。門柱や校名の看板などが徐々に出来上がり、記念式典や文化祭に向けての準備もいよいよ大詰めを迎えることとなります。今年は天候の関係で2番草の収穫作業にご苦労をされていることと思いますが、今後ともご協力をよろしくお願い致します。

今年は中学校統合50周年、平成30年には上風連開基100周年、平成33年には小学校統合50周年と続くこともあり、各種会議や地域の行事などで上風連の開拓の歴史や馬引きトロッコや殖民軌道についてのお話を聞く機会が多くあります。中には、「50年前の資料があります」と連絡してくださる方もおり、記念誌編纂などの参考にさせていただいています。どうもありがとうございます。